

# 北海道離島航路確保対策協議会協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

羽幌港と焼尻島、天売島を結ぶ離島航路(羽幌～天売航路)は、他に島を結ぶ航路がない唯一の航路である。

本航路は、生活物資及びごみ処理、し尿処理車輛の輸送等においてなくてはならない生活の足であり、また、各離島住民は本土の羽幌町の病院や歯科医院へ通院しており、本航路の利用が不可欠となっている。

平成30年3月現在、離島住民の人口は焼尻島が198人、天売島が299人で年々減少し、過疎化も進行しており、また、平成30年3月現在で高齢化率が47.4%(焼尻島57.9% 天売島40.8%)と著しく高い状況にあるなど、航路を取り巻く環境は厳しく、事業者が単独で航路を維持していくことは困難であり、その維持には公的支援が必要な状況にある。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

本航路は、利用者が、平成30年度実績で約34,800人、うち島民の利用は2割未満であり、観光客など島外からの利用者が8割以上を占めている。

事業者はもとより関係者の連携のもと、下記の取組により、航路利用者は近年、横ばいで推移している。

- ・自然体験の学習を目的とした利用者の誘致や学生や家族割引の実施
- ・天売島のウニ、焼尻島のサフォークめん羊、羽幌町の甘エビなど地域の味覚を活かした観光イベントとの連携による利用客数の向上
- ・フェリー乗船割引特典付きの管内バス乗り放題周遊券(フリー切符)の販売
- ・天売島の海鳥の写真撮影など、体験型ツアーの開発・実施

今後も観光地としての魅力づくりと上記取組に係る情報発信により観光客の維持・拡大を図り、年間約38,500人以上の航路利用者の確保及び欠損の抑制に努める。

## 平成31年度事業概要

閑散期(9/1～5/31(GWを除く))においては1日1～2便、繁忙期(GW及び6/1～8/31)においては1日最大4～6便の運航をすることとしている。

## 地域公共交通の現況

- ・沿岸バス(株)  
(町内3路線、札幌1路線)
- ・本離島航路のみ

## 協議会開催状況

- ・平成30年6月11日 平成30年度第1回協議会  
(主な協議事項)  
平成31年度離島航路確保維持計画案の検討
- ・令和2年1月22日 平成30年度第2回協議会  
(主な協議事項)  
平成31年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価

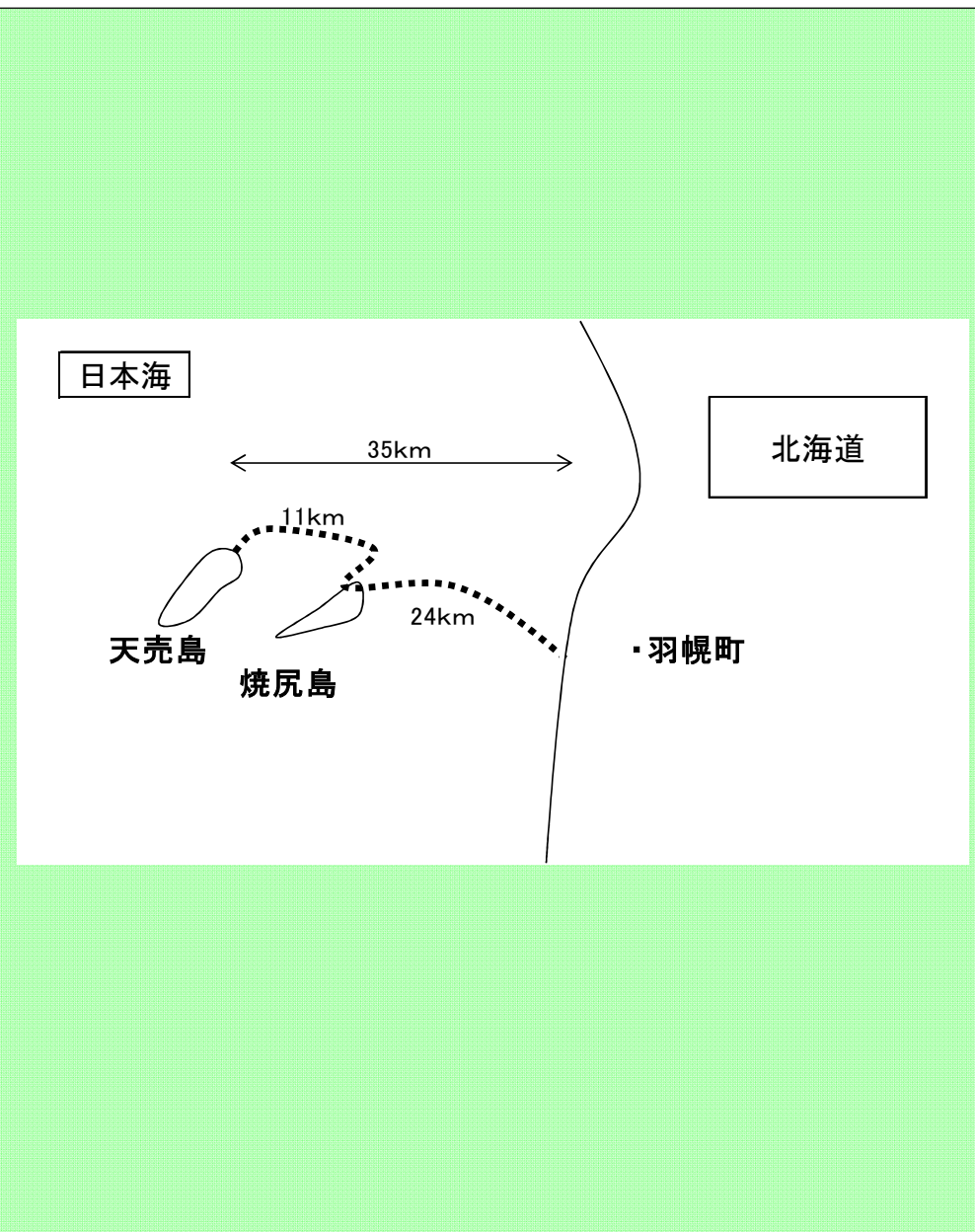
## 平成31年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

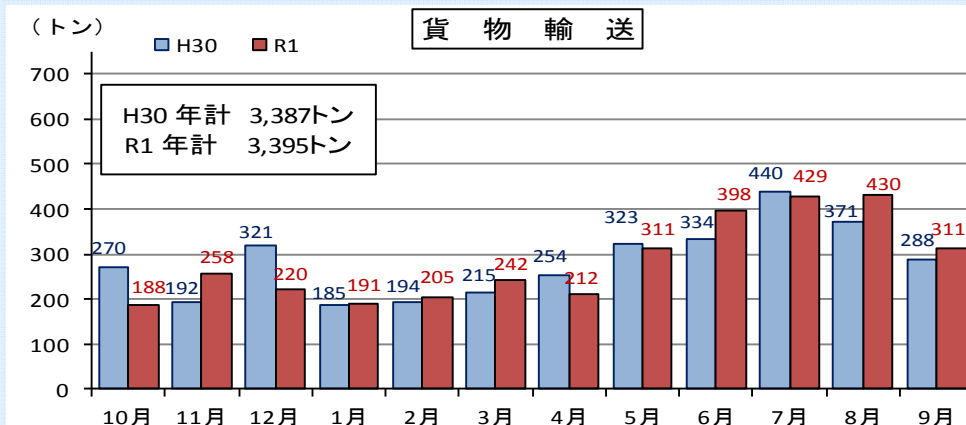
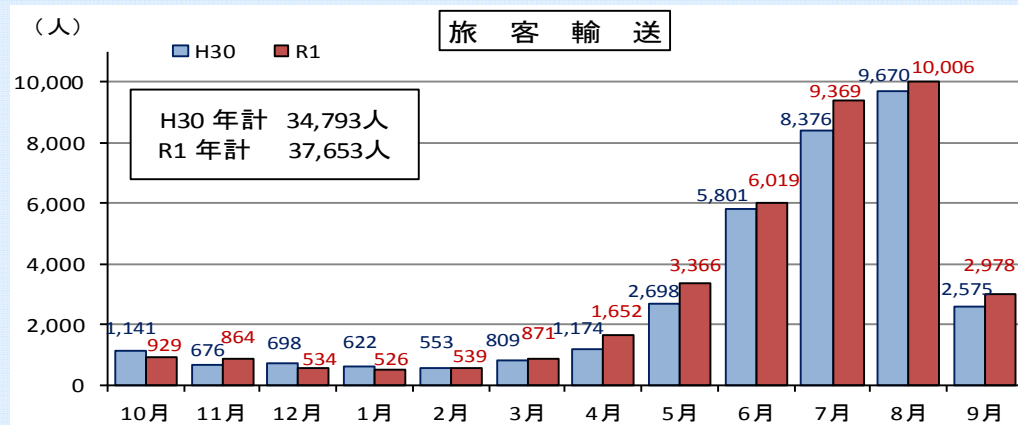
離島航路事業運航計画に基づき、航路事業者は、関係機関と連携し、次のとおり事業を行った。

- ①羽幌町、観光協会との協働による取組
  - ・羽幌町から高速船3割引に係る補助
  - ・羽幌町及び観光協会と連携したイベント「宝島2019 天売島・焼尻島、兄弟島の財宝伝説」を実施
- ②新規顧客の獲得に向けた取組
  - ・宿泊研修団体割引を設定し、札幌、旭川、留萌から夏休みの学童保育を実施
- ③バス事業者と連携した取組
  - ・路線バスの乗り放題きっぷ(萌えっ子フリーきっぷ)の提示による割引運賃を設定
- ④レンタカー会社及び地元ホテルと提携した取組
  - ・ワールドネットレンタカーと提携し、割引運賃を設定
  - ・はぼろ温泉サンセットプラザの協力により、上記割引に温泉無料入浴をサービス
- ⑤道内外での各種プロモーション活動
  - ・札幌地下歩行空間イベントの実施、JR札幌駅・大通ビッセでのイベント参加
  - ・イオンモール旭川駅前のフードコートでのPRパネル看板掲出
  - ・千葉県我孫子市で開催の「ジャパンバードフェスティバル2018」へ参加
  - ・東京都豊島区で開催の「アイランダー2018」へ参加
- ⑥ウェブサイト運営会社、北海道、羽幌町等との協働プロジェクト
  - ・フェリーや高速船を利用した「島タビ」の魅力をウェブサイト等を活用して情報発信
- ⑦経費の削減
  - ・競争入札の実施(船舶修繕費、燃料費等)など

### 2) 運航系統



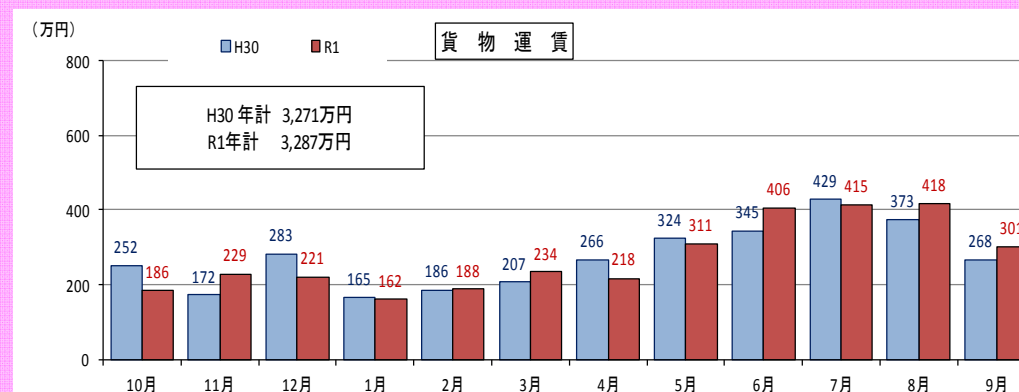
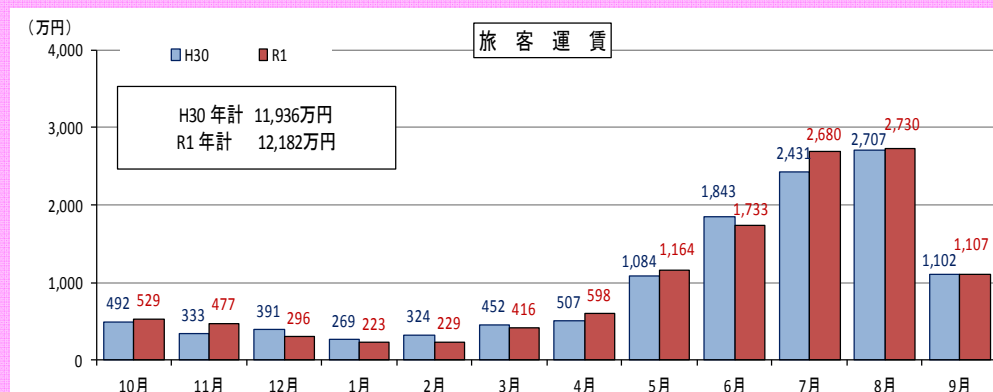
### 3) 利用実績



#### 〔令和元年度の状況〕

- ・旅客輸送：平成30年度は、悪天候による欠航が多かったこと等により例年より少ない実績であったため、前年度比増となっている。
- ・貨物輸送：概ね横ばいで推移しており、年合計の数値は微増となっている。

### 4) 収入実績



※旅客運賃には自動車航走運賃を含む。

#### 〔令和元年度の状況〕

- ・旅客運賃：平成30年度は、悪天候による欠航が多かったこと等により例年より少ない実績であったため、前年度比増となっている。
- ・貨物運賃：概ね横ばいで推移しており、年合計の数値は微増となっている。

## 5) 事業実施の適切性

運行計画に沿って適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

計画時の実績見込に対する達成状況については次のとおり。

### ○旅客輸送実績

目標値: 38,439人 実績値: 37,653人 (▲786人 達成率: 約98%)

### ○自動車航送実績

目標値: 3,361台 実績値: 3,120台 (▲241台 達成率約93%)

### ○運賃収入実績

#### ・旅客運賃

目標値: 90,734千円 実績値: 77,638千円 (▲13,096千円 達成率約86%)

#### ・自動車航送運賃

目標値: 44,694千円 実績値: 44,183千円 (▲511千円 達成率約99%)

### ○運賃収入合計

目標値: 135,428千円 実績値: 121,822千円 (▲13,606千円 達成率: 約90%)

### ○収入合計

目標値187,151千円 実績値: 180,274千円 (▲6,877千円 達成率: 約96%)

人口減少等といった社会的背景の影響もあり、輸送実績(旅客及び貨物)、運賃収入実績(旅客運賃及び自動車航送運賃合計)いずれも目標を下回り、収入全体としても目標を下回る結果となった。

費用については燃料高騰の影響により燃料油脂費の増加が大きいものの、他の各費目での節減に努めた結果、微増に留めることができたが、収入の減少が大きく、欠損額については目標に比して増加という結果となった。

## 7) 事業の今後の改善点

利用客の増加に向け、自然体験の学習を目的とした利用者の誘致や学生・家族割引の実施、地域の味覚を活かした観光イベントへの参加、フェリー乗船割引特典付きの管内バス乗り放題周遊券(フリー切符)の販売、体験型ツアーの開発・実施などについて、引き続き、各関係機関で連携した取り組みを推進する。

その他、運航事業者の取り組みとして、ウェブサイトの充実、旅行代理店と大学などへの積極的な広告展開等の宣伝広告事業などにより、天売島・焼尻島の魅力を発信し、利用増を図る。

また、今後一層の経費削減を行い、欠損額の抑制に努める。

## 8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

運航計画に沿った運航がなされており、運航事業者自らも経費の節減を行うとともに、安全運航につとめ、適切に事業が実施されている。前年度より欠航率の減少やゴールデンウィークが10連休となった影響もあり、旅客及び自動車航送は輸送実績、運賃収入ともに増加したものの、人口減少等といった社会的背景の影響もあり、輸送実績、運賃収入ともに目標値を下回った。

旅客利用促進のため、羽幌町と協働しての6月～8月の高速船運賃割引の取組みや天売島、焼尻島の観光PRのため、札幌でのイベントの実施、千葉県で開催されたジャパンバードフェスティバルへの出展などの取組みも実施した。

引き続き関係機関と連携した旅客利用促進の取組みや天売島、焼尻島の魅力を発信するような宣伝広告を行い、フェリー利用促進を図るとともに、一層の経費削減を行い、欠損額の抑制につとめることを期待する。